

平成 17 年 3 月期

個別財務諸表の概要

平成 17 年 5 月 18 日

上場会社名

リオン株式会社

コード番号 6823 上場取引所 東 本社所在都道府県

東京都

(URL http://www.rion.co.jp/)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 問合せ先責任者 役職名 取締役管理統括部長 氏名

氏名 井上清恆

清水健一

TEL (042)359 - 7834 中間配当制度の有無、有

決算取締役会開催日 平成 17年5月18日 定時株主総会開催日 平成 17 年 6 月 28 日

単元株制度採用の有無 有(1単元1,000株)

1 . 17年3月期の業績(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(1)経営成績

	売 上 高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期	16,103 4.8	521 74.2	470 64.1
16年3月期	15,366 1.8	299 162.0	286 47.4

	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	株 主 資 本 当期純利益率	総 資 本経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
17年3月期	270 110.0	25 30	24 60	3.2	2.1	2.9
16年3月期	128 1450.5	12 00	11 81	1.6	1.3	1.9
(注) 期中平	·均株式数 17 年 3 月	朝 9,890,604 株	16年3月	期 9,894,17	0 株	

期中平均株式数 (注)

会計処理の方法の変更 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2)配当状況

	(-/HC ////C							
Ī		1 株	当たり年間配当	当金	配当金総額	配当性向	株主資本	
			中間	期末	(年 間)	第537年19 	配当率	
		円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%	
	17年3月期	13 00	0 00	13 00	128	51.4	1.5	
	16年3月期	10 00	0 00	10 00	98	83.3	1.2	

(注) 17年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 特別配当 3円00銭

(3) 財政状態

1 - / //3 - // // // //				
	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期	22,371	8,579	38.3	865 61
16年3月期	22,173	8,382	37.8	846 40

(注) 期末発行済株式数 17年3月期 9,888,721株 16年3月期 9,892,420株 期末自己株式数 17年3月期 11.279 株 16年3月期 7.580 株

2.18年3月期の業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

				计	1 株当たり年間配当金			
		売上高	経吊利 盆	当期純利益	中間	期末		
中	間期	百万円 8,050	百万円 210	百万円 150	円 銭	円銭	円 銭	
通	期	16,280	570	300		13 00	13 00	

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 30 円 34 銭

なお、上記業績予想に関する事項は決算短信(連結)添付資料10ページをご参照ください。

^{*}上記の予想は現時点で入手可能な情報にもとづき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因 により異なる結果となる可能性があります。

1.財務諸表等

<u>(1)財務諸表</u> 貸借対照表

		前事業年度 (平成16年 3 月31日)				当事業年度	
区分	注記番号		<u> 116年 3 月31日)</u> 千円)	構成比 (%)		<u> </u>	構成比 (%)
(資産の部) 流動資産 1 現金及び預金 2 受取手形 3 売掛金	留写 5 5		1,135,527 1,235,710 3,200,465	(%)		738,460 1,342,771 3,387,959	(%)
4 有価証券 5 製品 6 半製品 7 材料 8 仕掛品 9 貯蔵品 10 前払費用			49,242 1,228,297 461,213 836,939 730,899 17,794 99,261			39,523 1,088,641 496,341 923,095 748,586 21,551 84,445	
11 未収収益 12 未収入金 13 短期貸付金 14 繰延税金資産 15 その他 貸倒引当金 流動資産合計	5		631 454,918 202,238 232,309 67,199 1,528 9,951,122	44.9		2,286 562,312 297,158 6,770 59,223 9,680,683	43.3
固定資産 1 有形固定資産 (1)建物 減価償却累計額 (2)構築物 減価償却累計額 (3)機械及び装置	1	5,823,221 2,881,745 225,146 165,319 1,425,400	2,941,476 59,826		5,953,604 2,988,871 239,757 174,799 1,502,211	2,964,733	
減価償却累計額 (4)工具、器具及び備品 減価償却累計額 (5)土地	1	995,292 3,980,113 3,441,269	430,107 538,843 5,963,466		1,048,197 4,098,468 3,545,746	454,013 552,722 5,963,466	
(6)建設仮勘定 有形固定資産合計 2 無形固定資産	2		123,356 10,057,076	45.3		152,381 10,152,275	45.4
(1) 商標権 (2) ソフトウエア (3) ソフトウエア仮勘定 (4) その他			4,459 229,254 137,029 1,440	4.7		2,401 297,226 16,069 1,229	4.4
無形固定資産合計 3 投資その他の資産 (1)投資有価証券 (2)関係会社株式 (3)出資金 (4)関係会社出資金 (5)従業員長期貸付金 (6)関係会社出費用			372,183 632,961 192,577 188,891 5,000 900 10,605 79,382	1.7		316,926 874,984 191,577 5,920 5,000 190 277,227 95,923	1.4
(8) 敷金保証金 (9) 長期預金 (10) 繰延税金資産 (11) その他 貸倒引当金 投資その他の資産合計 固定資産合計			80,340 50,000 550,180 3,731 1,234 1,793,336 12,222,596	8.1 55.1		79,302 689,411 11,044 8,682 2,221,899 12,691,100	9.9 56.7
資産合計			22,173,719	100.0		22,371,783	100.0

		前事業年度			当事業年度		
区分	注記	(平成) 金額(16年3月31日) エロい	構成比	(平成 金額(17年3月31日)	構成比
	番号	工品(113)	(%)	立识(113)	(%)
(負債の部)							
流動負債							
1 支払手形			375,255				
2 買掛金	5		962,315			1,218,783	
3 一年以内償還予定社債			100,000			200,000	
4 一年以内返済長期借入金			1,740,760			2,289,160	
5 未払金			1,275				
6 未払法人税等			297,481			263,307	
7 未払消費税等			45,367			8,643	
8 未払費用	5		147,552			138,876	
9 前受金			32,171			27,388	
10 預り金			35,825			30,140	
11 賞与引当金			468,695			542,102	
12 その他			34,762			150,398	
流動負債合計			4,241,464	19.1		4,868,802	21.8
固定負債							
1 社債			350,000			600,000	
2 長期借入金			4,990,460			3,962,600	
3 退職給付引当金			2,026,535			2,161,857	
4 役員退職慰労引当金			83,720			97,200	
5 預り保証金			15,271			18,275	
6 再評価に係る 繰延税金負債	2		2,083,278			2,083,278	
固定負債合計			9,549,264	43.1		8,923,211	39.9
負債合計			13,790,729	62.2		13,792,014	61.7
(資本の部)							
資本金	3		1,194,400	5.4		1,194,400	5.3
資本剰余金							
1 資本準備金			1,618,490			1,618,490	
資本剰余金合計			1,618,490	7.3		1,618,490	7.2
利益剰余金							
1 利益準備金			162,400			162,400	
2 任意積立金							
別途積立金		2,000,000			2,000,000	_	
圧縮記帳積立金		134,200	2,134,200		131,594	2,131,594	
3 当期未処分利益			164,181			328,122	
利益剰余金合計			2,460,781	11.1		2,622,117	11.7
土地再評価差額金	2 6		3,036,599	13.7		3,036,599	13.6
その他有価証券評価差額金	6		76,738	0.3		114,048	0.5
自己株式	4		4,019	0.0		5,886	0.0
資本合計			8,382,990	37.8		8,579,769	38.3
負債及び資本合計			22,173,719	100.0		22,371,783	100.0

損益計算書

		前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)			当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)		
区分	注記 番号	金額(-	千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
売上高	5		15,366,002	100.0		16,103,555	100.0
売上原価 1 期首製品棚卸高 2 当期製品製造原価 3 当期製品仕入高 4 他勘定より振替高	3	1,517,247 8,250,550 304,586			1,228,297 8,882,773 325,808 886,187		
日本 一心動により旅自同日本 合計	'	931,669 11,004,054			11,323,067		
5 他勘定への振替高 6 期末製品棚卸高	2	266,280 1,228,297	9,509,476	61.9	306,680 1,088,641	9,927,745	61.6
売上総利益			5,856,525	38.1		6,175,810	38.4
販売費及び一般管理費	3 4		5,557,310	36.2		5,654,428	35.2
営業利益 営業外収益	5		299,215	1.9		521,382	3.2
当業が収益 1 受取利息 2 受取配当金	5	11,364 53,224			14,714 38,787		
3 収入家賃4 受取保険金		44,675 672			45,542 2,078		
5 経営管理料 6 国庫補助金 7 その他		45,600 39,000 95,313	289,850	1.9	45,600 37,000 54,298	238,019	1.5
		156,601 3,015	203,000	1.9	118,888 4,712	200,010	1.0
3 製品廃棄損		75,673	000 040		83,754		
4 その他 経常利益		67,321	302,612 286,453	1.9 1.9	81,921	289,277 470,124	1.8 2.9
無事利益 特別利益 1 固定資産売却益	6	586	200,433	1.9	1,454	470,124	2.9
2 貸倒引当金取崩益 3 投資有価証券売却益 特別損失		4,871 1,520	6,978	0.0	50	1,504	0.0
イが頂大 1 固定資産除却損 2 投資有価証券売却損	7	32,912 4,784			19,160		
3 関係会社株式評価損			37,696	0.2	1,000	20,160	0.1
税引前当期純利益 法人税、住民税及び 事業税		339,990	255,734	1.7	410,885	451,468	2.8
法人税等調整額		212,957	127,032	0.8	229,676	181,209	1.1
当期純利益			128,701	0.9		270,259	1.7
前期繰越利益			35,479			57,863	
当期未処分利益			164,181			328,122	

利益処分計算書

			業年度 6月25日) ミ承認日)	(平成17年	《年度 6月28日) 開催予定日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)
当期未処分利益			164,181		328,122
任意積立金取崩額					
1 圧縮記帳積立金取崩額		4,003	4,003	4,003	4,003
合計			168,184		332,126
利益処分額					
1 配当金		98,924		128,553	
2 役員賞与金		10,000		20,000	
(うち監査役賞与金)		(1,000)		(2,000)	
3 圧縮記帳積立金積立額		1,396			
4 別途積立金積立額			110,321	80,000	228,553
次期繰越利益			57,863		103,573

- (注) 1 配当金は、自己株式を除いて計算しております。
 - 2 圧縮記帳積立金の取崩額は、租税特別措置法の規定に基づくものであります。
 - 3 圧縮記帳積立金の積立額は、外形標準課税導入に伴う法定実効税率の変更によるものであります。

財務諸表作成の基本となる重要な事項

前事業年度 当事業年度 (自 平成15年4月1日 (自 平成16年4月1日 平成16年3月31日) 至 平成17年3月31日) 有価証券の評価基準及び評価方法 1 有価証券の評価基準及び評価方法 (1)子会社株式及び関連会社株式 (1)子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 同左 (2)その他有価証券 (2)その他有価証券 時価のあるもの 時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法 同左 (評価差額は全部資本直入法により処理し、売 却原価は移動平均法により算定) 時価のないもの 時価のないもの 移動平均法による原価法 同左 2 たな卸資産の評価基準及び評価方法 2 たな卸資産の評価基準及び評価方法 (1)製品・半製品・仕掛品 (1)製品・半製品・仕掛品 移動平均法による原価法 同左 (2)材料 移動平均法による原価法 同左 (3)貯蔵品 (3)貯蔵品 最終仕入原価法 同左 3 固定資産の減価償却の方法 3 固定資産の減価償却の方法 (1)有形固定資産 (1)有形固定資産 定率法によっております。 同左 ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物 (建物附属設備は除く)については、定額法によっ ております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりでありま す。 建物及び構築物 7~50年 機械装置及び運搬具 5~20年 工具、器具及び備品 2~20年 (2)無形固定資産 (2)無形固定資産 定額法によっております。 同左 ただし、自社利用のソフトウエアについては、 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法 によっております。 (3)長期前払費用 (3)長期前払費用 定額法によっております。 同左 4 繰延資産の処理方法 4 繰延資産の処理方法 社債発行費 社債発行費 支出時に費用処理しております。 同左 5 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準 5 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準 外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場に 同左 より円貨に換算し、換算差額は損益として処理して おります。

前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

6 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等により、貸 倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可 能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に充てるため、当 事業年度に帰属する賞与の支払額を見積計上して おります。

(3)退職給付引当金

従業員に対する退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、会計基準変更時差異(3,220,633千円)については、14年による按分額を費用処理しております。

過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残 存勤務期間以内の一定の年数(14年)による按分額 を費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数 (14年)による按分額を翌事業年度より費用処理しております。

(4)役員退職慰労引当金

役員に対する退職金の支払に備えるため、当社 内規に基づく役員退職慰労金の期末要支給額を引 当計上しております。

7 リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

引当金の計上基準 (1)貸倒引当金

同左

(2)賞与引当金

同左

(3)退職給付引当金

同左

(4)役員退職慰労引当金

同左

7 リース取引の処理方法

同左

前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

- 8 ヘッジ会計の方法
 - (1)ヘッジ会計の方法

金利スワップについては、特例処理の要件を満たしておりますので、特例処理を行っております。

(2)ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段 金利スワップ取引 ヘッジ対象 借入金の金利

(3)ヘッジ方針

金利の相場変動に伴うリスクの軽減、資金調達 コストの低減を目的に金利に係るデリバティブ 取引を行っております。

投機目的のデリバティブ取引は行わない方針であります。

(4)ヘッジ有効性評価の方法

金利スワップの特例処理の要件を満たしているため有効性の判定を省略しております。

(5) その他リスク管理方法のうちヘッジ会計に係るもの

デリバティブ取引に関する社内規程に基づき 取引を行っております。

9 その他財務諸表作成のための重要な事項 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。また、たな卸資産に係る控除対象外消費税等は当事業年度の負担すべき期間費用として処理しており、固定資産に係る控除対象外消費税等は長期前払費用として計上し、5期間にわたり償却しております。

8 ヘッジ会計の方法

(1)ヘッジ会計の方法

同左

(2)ヘッジ手段とヘッジ対象

同左

(3)ヘッジ方針

同左

(4)ヘッジ有効性評価の方法

同左

(5) その他リスク管理方法のうちヘッジ会計に係るもの

同左

9 その他財務諸表作成のための重要な事項 消費税等の会計処理

同左

表示方法の変更

前事業年度	当事業年度
(自 平成15年4月1日	(自 平成16年4月1日
至 平成16年3月31日)	至 平成17年3月31日)
(損益計算書) 前事業年度に営業外収益の「その他」に含めて表記しておりました「経営管理料」は、営業外収益の100分の10を超えましたので、独立科目で掲記することに変更いたしました。 なお、前事業年度における「経営管理料」の金額は、22,800千円であります。	(貸借対照表) 「証券取引法等の一部を改正する法律」(平成16年 法律第97号)が平成16年6月9日に公布され、平成16 年12月1日より適用となること及び「金融商品会計に 関する実務指針」(会計制度委員会報告第14号)が平成17年2月15日付で改正されたことに伴い、当事業年度から投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資(証券取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)を投資有価証券として表示する方法に変更いたしました。 なお、当事業年度の投資有価証券に含まれる当該出資の額は、177,596千円であります。

追加情報

前事業年度	当事業年度
(自 平成15年4月1日	(自 平成16年4月1日
至 平成16年3月31日)	至 平成17年3月31日)
	「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律 第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4 月1日以後に開始する事業年度より外形標準課税制度 が導入されたことに伴い、当事業年度から「法人事業 税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示に ついての実務上の取扱い」(平成16年2月13日 企業 会計基準委員会 実務対応報告第12号)に従い法人事 業税の付加価値割及び資本割については、販売費及び 一般管理費に計上しております。 この結果、販売費及び一般管理費が30,567千円増加 し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が30,567 千円減少しております。

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成16年3月31日)

有形固定資産のうち下記の建物、土地は借入金の

担保に供されております。 建物 1,813,280千円 土地 4,583,331千円 合計 6.396.611千円

2 十地の再評価

土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日 公布法律第34号)及び土地の再評価に関する法律 の一部を改正する法律(平成13年3月31日公布法 律第19号)に基づき、事業用の土地の再評価を行 い、再評価に係る繰延税金負債を負債の部及び土 地再評価差額金を資本の部に計上しております。

再評価の方法

土地の再評価に関する法律施行令(平成10年3月31日公布政令第119号)第2条第5号に定める不動産鑑定士による鑑定評価により算出しております。

再評価を行った年月日 平成13年3月31日 再評価を行った土地の期末

における時価と再評価後の 663,838千円

帳簿価額との差額

3 株式の状況

授権株式総数 普通株式 32,000千株 発行済株式総数 普通株式 9,900千株

4 自己株式の保有数

普通株式 7,580株

5 関係会社に係る注記

区分掲記されたもの以外で各科目に含まれて いる関係会社に対するものは次のとおりでありま す。

受取手形 372,103千円 売掛金 1,193,025千円 未収入金 179,458千円 短期貸付金 200,000千円 買掛金 197,151千円 未払費用 4,764千円

6 配当制限

商法施行規則第124条第3号に規定する金額は、76,738千円であります。

土地再評価差額金は、土地の再評価に関する法律第7条の2第1項の規定により、配当に充当することが制限されております。

当事業年度 (平成17年3月31日)

1 有形固定資産のうち下記の建物、土地は借入金の 担保に供されております。

建物1,732,825千円土地4,583,331千円合計6.316,156千円

2 土地の再評価

土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日 公布法律第34号)及び土地の再評価に関する法律 の一部を改正する法律(平成13年3月31日公布法 律第19号)に基づき、事業用の土地の再評価を行 い、再評価に係る繰延税金負債を負債の部及び土 地再評価差額金を資本の部に計上しております。

再評価の方法

土地の再評価に関する法律施行令(平成10年3月31日公布政令第119号)第2条第5号に定める不動産鑑定士による鑑定評価により算出しております。

再評価を行った年月日 平成13年3月31日 再評価を行った土地の期末

における時価と再評価後の 791,704千円

帳簿価額との差額

3 株式の状況

授権株式総数 普通株式 32,000千株 発行済株式総数 普通株式 9,900千株

4 自己株式の保有数

普通株式 11.279株

5 関係会社に係る注記

区分掲記されたもの以外で各科目に含まれて いる関係会社に対するものは次のとおりでありま す。

受取手形 397,112千円 売掛金 1,341,492千円 未収入金 41,460千円 買掛金 244,809千円 未払費用 6,252千円

6 配当制限

商法施行規則第124条第3号に規定する金額は、114,048千円であります。

土地再評価差額金は、土地の再評価に関する法律第7条の2第1項の規定により、配当に充当することが制限されております。

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成15年4月1日		当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)			
至 平成16年3月31日 1 他勘定より振替高の主なものは	• ,	至 平成17年3月31 1 他勘定より振替高の主なものは			
ります。	X 1 0 C 0 7 C 0	ります。	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
材料	520,853千円	材料	546,282千円		
半製品	234,935千円	半製品	196,291千円		
その他	175,880千円	その他	143,613千円		
2 他勘定への振替高の主なものは	以下のとおりであ	2 他勘定への振替高の主なものは	以下のとおりであ		
ります。		ります。			
固定資産	49,777千円	固定資産	42,647千円		
営業外費用	36,988千円	営業外費用	50,878千円		
経費	179,513千円	経費	213,153千円		
3 一般管理費及び当期製造費用に 費は、1,461,844千円であります。	含まれる研究開発	3 一般管理費及び当期製造費用に 費は、1,432,882千円であります。			
4 販売費及び一般管理費の主なも であります。	のは以下のとおり	4 販売費及び一般管理費の主なも であります。	のは以下のとおり		
販売手数料	348,823千円	販売手数料	326,587千円		
広告宣伝費	243,544千円	広告宣伝費	357,499千円		
給料	1,550,210千円		1,476,723千円		
賞与手当	199,535千円	賞与手当	263,622千円		
賞与引当金繰入額	207,976千円	賞与引当金繰入額	206,111千円		
退職給付引当金繰入額		退職給付引当金繰入額			
	379,932千円		371,875千円		
役員退職慰労引当金繰入額	28,900千円	役員退職慰労引当金繰入額	28,670千円		
減価償却費	189,495千円	貸倒引当金繰入額	65,304千円		
研究開発費	803,272千円	減価償却費 研究開発費	192,651千円 747,989千円		
販売費に属する費用のおおよそ しまれる	の割合 61%	例が元員	747,303 []		
一般管理費に属する費用のおお		販売費に属する費用のおおよそ	の割合 61%		
	& COM	一般管理費に属する費用のおお			
5 各科目に含まれている関係会社	に対するものは以	5 各科目に含まれている関係会社	に対するものは以		
下のとおりであります。		下のとおりであります。			
売上高	3,363,665千円	売上高	3,777,576千円		
営業外収益		営業外収益			
受取利息	5,290千円	受取利息	2,911千円		
受取配当金	39,400千円	受取配当金	29,200千円		
収入家賃	39,192千円	収入家賃	41,004千円		
経営管理料	45,600千円	経営管理料	45,600千円		
その他	36,751千円	その他	35,507千円		
合計	166,233千円	合計	154,222千円		
6 固定資産売却益は以下のとおり	であります。	6 固定資産売却益は以下のとおり	であります。		
工具、器具及び備品	586千円	工具、器具及び備品	1,454千円		
7 固定資産除却損は以下のとおり	であります。	7 固定資産除却損は以下のとおり	であります。		
機械及び装置	2,742千円	建物	7,297千円		
工具、器具及び備品	28,717千円	機械及び装置	3,503千円		
その他	1,452千円	工具、器具及び備品	8,198千円		
<u>- この心</u> 合計	32,912千円	エ英、語英及び帰品 その他	161千円		
	32,812十円		19,160千円		
		口前	19,100千円		

(2)リース取引関係

前事業年度 当事業年度 (自 平成15年4月1日 平成16年4月1日 至 平成16年3月31日) 平成17年3月31日) リース物件の所有権が借主に移転すると認められる リース物件の所有権が借主に移転すると認められる もの以外のファイナンス・リース取引 もの以外のファイナンス・リース取引 (借主側) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当 額及び期末残高相当額 額及び期末残高相当額 機械及 工具、器 ソフト 機械及 工具、器 び装置 具及び ウエア び装置 具及び ウエア 合計 合計 備品 備品 (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) 取得価額 取得価額 29.893 252,283 13,620 295,796 50,279 128,133 15,402 193,814 相当額 相当額 減価償却 減価償却 累計額 15.854 191.268 10.075 217.197 累計額 20.784 99.574 5.380 125.740 相当額 相当額 期末残高 期末残高 14.039 61.015 29.494 28.558 10.021 68.074 3.544 78.599 相当額 相当額 取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有 同左 (注) (注) 形固定資産の期末残高等に占める割合が低いた め、支払利子込み法により算定しております。 2 未経過リース料期末残高相当額 未経過リース料期末残高相当額 1年内 1年内 38.590千円 29,155千円 38,919千円 1年超 1年超 40,008千円 68,074千円 合計 78,599千円 合計 なお、未経過リース料期末残高相当額は、未経過 同左 リース料期末残高が有形固定資産の期末残高等に占 める割合が低いため、支払利子込み法により算定し ております。 3 支払リース料等 支払リース料等 支払リース料(減価償却費相当額) 54,511千円 支払リース料(減価償却費相当額) 39,442千円 4 減価償却費相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする 同左 定額法によっております。 5 5 オペレーティング・リース取引 (借主側) 未経過リース料 1年内 1.824千円 1年超 1,824千円

合計

3.648千円

(3)有価証券関係

前事業年度(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)および当事業年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)における子会社株式および関連会社株式で時価のあるものはありません。

(4)税効果関係

前事業年度 (平成16年 3 月31日)		当事業年度 (平成17年 3 月31日)	
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の主な発生原因別内		1 繰延税金資産及び繰延税金負債の主な発生原因別内	
			3.70 <u>— </u>
		,	
賞与引当金損金算入限度超過額	190,712千円	賞与引当金損金算入限度超過額	220,581千円
退職給付引当金損金算入限度超過額	287,416千円	退職給付引当金損金算入限度超過額	275,913千円
役員退職慰労引当金	34,065千円	役員退職慰労引当金	39,550千円
その他	413,222千円	その他	616,301千円
繰延税金資産合計	925,417千円	操延税金資産合計 1	,152,347千円
繰延税金負債		繰延税金負債	
圧縮記帳積立金	90,280千円	圧縮記帳積立金	87,534千円
その他	52,646千円	その他	78,243千円
操延税金負債合計	142,927千円	—————————————————————————————————————	165,778千円
繰延税金資産の純額	782,489千円		986,569千円
	102, 100 1 15		000,000 1 13
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担 率との差異の原因となった主な項目別内訳		2 法定実効税率と税効果会計適用後の 率との差異の原因となった主な項目別P	
法定実効税率	40.7%	法定実効税率	40.7%
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない 項目	6.3%	交際費等永久に損金に算入されない 項目	3.7%
受取配当金等永久に益金に算入され ない項目	7.6%	受取配当金等永久に益金に算入され ない項目	2.7%
住民税均等割等	2.4%	住民税均等割等	1.4%
過年度法人税等	8.3%	税額控除	3.3%
その他	0.4%	その他	0.3%
税効果会計適用後の法人税等の負担	旦率 49.7%	税効果会計適用後の法人税等の負担薬	40.1%
3 繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、40.7%に変更しております。この税率の変更により、当事業年度末の繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が15,456千円減少し、当事業年度費用計上された法人税等調整額が16,220千円増加しております。		3	

(5)1株当たり情報

項目	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
1株当たり純資産額	846円40銭	865円61銭
1 株当たり当期純利益	12円00銭	25円30銭
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	11円81銭	24円60銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)		
1 株当たり当期純利益	1 1,2001 37,300.11)	± 1,20.11		
当期純利益 (千円)	128,701	270,259		
普通株主に帰属しない金額 (千円) (うち利益処分による役員賞与金)	10,000 (10,000)	20,000 (20,000)		
普通株式に係る当期純利益 (千円)	118,701	250,259		
普通株式の期中平均株式数 (千株)	9,894	9,890		
潜在株式調整後1株当たり当期純利益				
当期純利益調整額 (千円)				
普通株式増加数 (千株) (うち新株予約権)	160 (160)	283 (283)		
希薄化効果を有しないため、潜在 株式調整後1株当たり当期純利益 の算定に含まれなかった潜在株式 の概要				

(6)後発事象

該当事項はありません。

2.役員の異動

(平成17年6月28日予定)

(1)代表者の異動

該当事項はありません。

(2)その他の役員の異動

1.新任取締役候補

取締役 佐藤 隆雄(現 生産統括部副統括部長)

2.退任予定取締役

取締役 堤 正義(現 常務取締役 生産統括部長)

取締役 吉野 忠男